



■はじめに

令和5年度の農場評価もほぼ終了し、ぎふ清流GAPの評価を受けられた農業者の方々をはじめ、現地でご指導いただきました関係機関の皆様、円滑な評価にご協力いただきありがとうございました。

さて、来年度からはいよいよ農場評価の更新も始まります。更新期限の直前に慌てることがないように、できることから準備をお願いします。

■ぎふ清流 GAP 農場評価の実績(令和5年度)

| 経営体数※1 | 農場※2 | 組織 | 施設 |
|--------|------|----|----|
| 31 | 35 | 2 | 2 |

※1 団体は1件でカウント。変更申請も含む。

※2 農場はサンプリングで評価を行った農場数を含む。

<R5 年度に評価を行った品目>

- 農産物 ※複数品目で評価を受けた場合は、主な品目を記載
トマト・ミニトマト(9件)、米(6件)、かき(4件)、いちご(4件)、だいこん(1件)、リーフレタス他(1件)、いちご苗(1件)
- 林産物
しいたけ(4件)、まいたけ(1件)

■GAP 指導員育成研修実績(令和5年度)

ぎふ清流 GAP 推進センターでは、県、JA 職員等を対象に、GAP 実践の指導ができる人材育成を行っています。

| 研修名 | 実施日 | 育成人数 |
|-------------|---------------|------|
| GAP 指導員育成研修 | 7月26、27日、9月6日 | 15名 |
| GAP 指導員技能研修 | 6月8日、11月8日 | 43名 |
| QMS 研修 | 10月4日 | 15名 |
| HACCP 研修 | 12月 5、6日 | 13名 |
| 組織評価員育成研修 | 6月 19、20日 | 5名 |

■GAP の実践方法

- 何から始めればいいのか迷ったら、次の手順で GAP を始めましょう！
- リスク評価の仕方など、各農林事務所や JAの GAP 指導員に相談することができます。

1 GAP に取り組む目的を明確にします

- 農場や産地の経営方針、ぎふ清流GAPに取り組む目的を明確にします。

2 リスク評価で、農場の課題を洗い出します

- 課題を洗い出すために、最初に行うのが「**リスク評価**」です。
- リスク評価とは、農場に潜む様々なリスク(危害要因)について、「**危害の大きさ**」と「**発生頻度**」から**リスクの大小を判断すること**です。
- リスクの大小は農産物や農場の状況によって変化するため、管理方法に変化があった時だけでなく、少なくとも1年に1回はリスク評価の見直しをします。

3 リスクを下げるための管理手順書を作成します

- リスクを小さくする対策や手順を考え、文書化します。
- ぎふ清流 GAP 農場評価規準の内容を確認し、手順書に反映させます。

4 手順書に沿った GAP の実践と自己点検を行います

- 手順書に沿って GAP の実践をします。
- 自己点検を行い、手順書に沿った GAP の実践ができているか確認します。

5 管理手順書の見直しと GAP の実践を繰り返し行います

- 自己点検の結果、改善すべき点があれば、手順書を見直します。
- 自己点検と改善を繰り返し行い、農場評価規準の該当する項目について、取り組みができていることを確認してから、評価申請の準備をします。
- 組織、団体の場合は、内部監査を行い、組織、団体の GAP 実践ルールへの取り組みができていることを確認してから、評価申請の準備をします。

■「ぎふ清流GAP評価制度」に関する情報

Webサイト 検索 [ぎふ清流GAP \(岐阜県公式ホームページ\)](#)
制度の概要(要領・要綱の閲覧)、申請様式等のダウンロード、認証農場の紹介



■「ぎふ清流GAP通信」に関するお問い合わせ

(一社)岐阜県農畜産公社 [ぎふ清流GAP推進センター](#)
電話:058-216-1566 FAX:058-216-1567 Eメール:gifu-gap@gifu-notiku.com